# 福祉たずけあい基金BOOK

8期の助成団体紹介





# ▶ 目次

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金は
福祉たすけあい基金とは
NPO 法人 かながわ外国人住まいサポートセンター
NPO 法人 W.Co のびのび
NPO 法人 ワーコレたんぽぽひろば
NPO 法人 ままとんきっず
「あいおい」みんなの食堂
NPO 法人 き・ら・らクリアポート日中一時支援事業
海老名女性支援電話「そよ風」
NPO 法人 まんま
子育てサロン「子こっと」
NPO 法人 ワンエイド ····································
神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会
こぐまハートクラブ ······ ] (
ヤングコミュニティ
ご寄付のお願いと税制優遇のお知らせ
- 寄付申込み書



### 公益財団法人かながわ生き活き市民基金は・・

#### ◆成り立ち

食料・環境・福祉の分野での問題解決を、市民参加型ですすめてきた生活クラブ生活協同組合(1971年創立)は、90年代初頭から、市民が時間・知恵・労力・いくばくかのお金を出し合って当事者となる参加型福祉運動を実践してきました。その担い手は主にワーカーズ・コレクティブという働き方を行う女性たちでした。

1990年代当時、これら女性たちの意志ある社会貢献事業に資金を貸す金融機関は無いため、自前の財源による市民バンク(「女性・市民コミュニティバンク」の前身)をつくり、1998年から市民事業への融資を始めました。

生活クラブ生協は2003年に組合員に呼びかけて、福祉たすけあいにかかわる市民の福祉活動・非営利の市民事業の基盤造成・活動支援を行うための組織「生活クラブ福祉たすけあい基金」を設立しました。そして「生活クラブ福祉たすけあい基金」の10年間の助成活動の実践を経て、2013年にはこの事業を地域社会の中に押し出し、「公益財団かながわ生き活き市民基金」を設立しました。

#### ◆ミッション

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、こどもや障がいを持つ人が生きにくい社会になっています。

かながわ生き活き市民基金は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

#### ◆基金の事業・活動

かながわ生き活き市民基金の中心事業は、市民による寄付造成とこれを財源とした助成を通じた市民活動・事業への支援です。現在3つの助成プログラムを行っています。

福祉たすけあい基金 (2015年度から通常型助成とスタート助成を実施) は、意思ある生活クラブ組合員1万1千人の月100円寄付を基本財源とした助成プログラムです。事業指定助成プログラム「エラベル」は、登録した団体が寄付募集活動を行い、財団はこれを支援します。オーダーメイドプログラム (2015年助成の「子どもいきいき助成」) は寄付拠出者が助成プログラムを指定します。

助成事業以外には、講座事業、ネットワーク事業などを行っています。





かながわ生き活き市民基金の助成事業の一つに留まらず、かながわ生き活き市民基金を支える基金です。 福祉は人々の生活そのものといってよく、福祉たすけあい基金では高齢者・子ども・女性、外国人、障がい者 など様々な弱い立場の人々を支援する活動に助成しています。

#### **☞ 福祉たすけあい基金の特徴** ~1万人に支持される基金~

98%以上にあたる寄付が生活クラブ組合員1万1千人の毎月100円の寄付で寄せられています。このことは福祉たすけあい基金の強みであり、弱みであると言えます。顔の見えるおおぜいの支持者をさらに拡げつつ、ミッションを伝え地域の寄付者を拡げていかなければならないと考えています。

福祉たすけあい基金にはこれまで163団体から約9,100万円の申請があり、81団体へ2,707万6,813円を助成しました。

#### **1 期~8 期の実績**(5 期・7 期はスタート助成)

1期	助成2014年4月	申請34団体約2400万円	助成9団体 451万4100円
2期	助成2015年2月	申請17団体 約700万円	助成12団体 394万4950円
3期	助成2015年5月	申請34団体約2400万円	助成11団体 382万2000円
4期	助成2015年8月	申請20団体約1000万円	助成13団体 338万9131円
5期	助成2016年3月	申請12団体 約390万円	助成6団体 166万7633円
6期	助成2016年8月	申請11団体 約640万円	助成7団体 324万5769円
フ期	助成2017年4月	申請15団体 約490万円	助成10団体249万3230円
8期	助成2017年8月	申請20団体約1000万円	助成13団体 400万円

#### \* 申請事業活動の特徴

第1期から第8期までの計81団体へ助成を行ってきた中で、子ども・若者に関する活動を行っている団体が目立った他、高齢者福祉に関する活動を行なう団体も目立ちました。

実際に、今回(第8期)の助成でも、13団体中8団体が、居場所、子ども保育、子ども食堂、ひきこもり支援″等の子ども・若者に関する活動を行っており、他の2団体も日中一時支援事業による障がい者支援、先天性心疾患を含む病弱児の為の人的支援事業を行い、子ども・若者への間接的な活動を行なっています。

また、可視化が難しい、子ども・若者の貧困に対して直接活動を行うフードバンクの申請、外国人を言語の面でサポートする団体等も増えてきています。

### ⇒ 市民活動の先駆性・有効性・参加性・持続性、 そして社会を変える意気込みに期待

選考に当たっては、事業・活動の先駆性や有効性とともに、広く地域の人々や団体と連携し、時間・知恵・ 労力・お金などを拠出しあい、市民が主体となり地域の課題を解決する参加性が重視されます。また市民事業・活動を生み出し、育成し、事業拡大するだけでなく、市民の実践を根拠にアドボカシー活動を行い、社会を変えていく志が拡がることが期待されています。

#### **3** 選考委員(敬称略)

委員長 手塚 明美 一般社団ソーシャルコーディネート神奈川 理事長

田中 夏子 イタリア協同組合研究者/農業者

川岸 卓哉 弁護士/(特非)原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長

友澤 ゆみこ (特非) ピッピ・親子サポートネット 理事長 坪井 真里 東京コミュニティパワーバンク 事務局長

高村 文子 横浜YMCA 国際・地域事業担当チーフディレクター

種田 泉 横浜みなみ生活クラブ生協理事

城田 喜子 かながわ生き活き市民基金理事・生活クラブ神奈川副理事長





### NPO法人 かながわ外国人すまいサポートセンター

理事長 裵 安 横浜市中区

助成金額 466.000円

### 団体紹介

#### 設立年月

2001年3月

#### 団体の目的・活動内容

外国人の民間賃貸住宅への入居差別を解消 するために不動産業界団体、民族団体、神奈 川県、国際交流団体、NPOなどとの連携を 基盤に設立された団体。日本語でのすまい 探し、手続き、契約、様々な場面で生活に困 難を感じる住民たちを多言語でサポートし ている。

#### 取り組んでいる活動の思い

困窮、貧困を抱える外国人が差別、偏見 などからすまいを得ることができないと 言う事実は既に戦前から続いてきたが、 社会的課題として取り上げられることは 殆どなかった。神奈川県、不動産業界団 体、民族団体などとの連携により設立さ れた当団体は、誰もが安心して心地よく 過ごせる地域づくりを目指す。特に日本 の経済と産業を支える重要な働き手とし て権利が保障されない状況に置かれた 外国人のすまいと生活相談に、5言語で 対応し、幅広い支援を行っている。近年、 国籍を問わず日本人の生活困窮者からの 相談などへと活動の範囲は広がり、さま ざまな団体、機関などとの連携の下、問 題解決に向けたサポートをしている。

#### 活動歴

月~金曜日の相談窓口業務 各種講座や研修会の企画・実施 神奈川県、川崎市居住支援委託事業の実 施、生活困窮者自立支援モデル事業、生 活困窮者自立支援ネットワーク幹事団体 として活動

#### 団体情報

住所 〒231-8485 横浜市中区常磐町

1-7 横浜 YMCA 2 階

TEL 045-228-1752

FAX 045-228-1768

Mail sumai.sc@sumasen.com

URL http://www.sumasen.com/

### 助成した事業・活動

多言語相談拡充事業

### 内容

現在実施している5言語対応に加え、近年ニーズが高まっている4言 語(タガログ語、タイ語、ベトナム語、ネパール語)の新規スタッフ募 集や研修の実施、通訳支援など、相談窓口の対応言語拡充を行う。

### 助成対象

多言語相談の拡充を助成

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

現在、当団体で相談できる言語は中国語、コリア語、スペイン語、 ポルトガル語、英語の5言語です。近年、タガログ語、ベトナム語、 ネパール語、タイ語での相談が増えてきていますが、通訳者を確保で きず十分な対応ができておらず、今回助成を受けることができ正直 ほっとしております。新たな言語スタッフを拡充することにより、よ り多くの外国人へのサポートが実施できるよう努力する一方、単純 な通訳にとどまらず心と思いやりを届けるコーディネーターの育成 を目指したいと思います。



相談を受けている様子



多文化共生をテーマに実施 している講座の様子



各種マニュアル・パンフレット等



留学生相談の様子

# NPO 法人 W.Co のびのび

理事長 岡田 朋恵 茅ヶ崎市

助成金額 449.255円

### 団体紹介

#### 設立年月

2003年9月

#### 団体の目的・活動内容

生活クラブ生協の委託事業で介護保険の3事業(通所・訪問・居宅)と介護保険では 賄いきれない様々なニーズに応えるための 自費サービス(コミオプ事業)を行っています。その活動の中から自力での外出困難な方へサービスが必要と考え、移動支援サービスを開始します。

#### 取り組んでいる活動の思い

「自分達が年を取った時に受けたいサービスを地域に作り出していくことが大事」と考え活動を展開しています。現在行っている自費サービス(コミオブ)でのニーズで一番多いのは通院介助です。独居、高齢者世帯、日中独居の方がほとんどで月1回の主治医の受診も困難な状況です。また、通院だけではなく、買い物も自分で品物を見て選びたい方、楽しみのためにお出掛けしたい方と様々なニーズがあると思います。

最後まで住み慣れた自宅や地域で暮らすため、また、生活の質を豊かにするための しくみは本当に必要です。

#### 活動歴

2017年10月から開始予定

#### 団体情報

住所 〒253-0045

茅ヶ崎市茅ヶ崎234-1

茅ヶ崎たすけあいひろばぽかぽか内

TEL 080-4339-0826

Mail r-chigasaki@bzO3. plala.or.jp

### 🗱 助成した事業・活動

移動支援サービス

### \* 内容

2017年10月から移動支援事業を開始

### 🛊 助成対象

リース車両代、電話・インターネット・切手代金等 事業を行うための講習会受講料・保険料

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2003年にW.Co設立して14年。介護保険の事業や自費の事業で利用者のいろいろなニーズが見えてきました。メンバーの中の「事業を回していくだけで精一杯。ワーカーが足りていない。新しい事業を開始する余力はない」などの発言もあり、なかなか一歩が踏み出すことができませんでした。2016年にはNPO法人の届け出を行い、一番の課題であった移動支援のサービス開始に向かって動き出すことができました。

今回、助成を受けることで大きな力で出発にあたって後押しをしてもらったように思います。他の先輩の移動支援W.Coの様子からも事業を継続していくことの難しさも見え隠れしますが「年とっても行きたいところへ」を形にしていきます!

移動支援サービス



活動開始に向けた会議



登録証

移動支援サービス広報ちらし



# NPO法人ワーコレたんぽぽひろば

理事長 塩原佳織 茅ケ崎市

助成金額 517.208円

### 団体紹介

#### 設立年月

2003年10月

#### 団体の目的・活動内容

「子育て支援は親支援」を合言葉に、地域に 根ざした支援の活動を進めていくことを目 指し団体を設立しました。未就園児を対象と した一時預かり保育、子育て世代を中心に 日常的に多様な世代・文化・分野とのふれあ いができる場所と機会の提供を目的とした 居場所作りを行っています。

#### 取り組んでいる活動の思い

赤ちゃんからお年寄りまで誰もが地域 の中の第二の家として集う居場所を作り たい。

人々の楽しみ生きがいを生み出す場であ るとともに人々との結びつきも強め、困 りを地域で解決していく互助が生まれる 場として地域の方々と共に育つ場として 継続し地域コミュニティーの規範となる ような居場所を広げていきたいと考えて います。

#### 活動歴

2003年10月届出保育施設の運営を受 託し理由を問わない保育と子育て支援を 目的としたひろば事業を行う。2010年 保育施設が神奈川県の認定となり同年 NPO法人を取得。2017年12月地域の 居場所と一時預かり保育を行うたんぽぽ はうすを開設。

#### 団体情報

住所 〒253-0082

神奈川県茅ケ崎市香川3-4-5

TEL 090-6569-8530

Mail tannpopohiroba@gmail.com

**URL** 

www.facebook.com/npotanpopohiroba

### 助成した事業・活動

空き家を利用した地域共生型居場所作り

### 内容

子育て世代を中心に日常的に多様な世代・文化・分野とのふれあいがで きる場所と機会の提供を行う居場所の認知の拡大の為の活動、環境整

### 助成対象

環境整備の為の、エアコン、ガスコンロ、ペンキ購入費と広報活動のた めのチラシ作成費用

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の助成で環境整備、広報活動の拡大を進めることで、更にたん ぽぽはうすの取り組みについて認知をひろめ、多世代交流からうま れるお互い様の温かなコミュニティーを新たな支え合いを地域に広 く伝え、ともに見守り支え合える豊かな地域作りに繋げていけたら と考えます。



地域のフリー スペースの様子

小中学生フリー

スペースの様子



小中学生造形教室 (スライム作り)

たんぽぽカフェ 「不登校講座」の様子



たんぽぽひろば外見

エアコンの 入ったお部屋



### 特定非営利活動法人 ままとんきっず 理事長 有北いくこ 川崎市多摩区

助成金額 462,000円

### 団体紹介

#### 設立年月

1993年10月(2002年7月法人化)

#### 団体の目的・活動内容

子育てに支援を必要とする親子、または関 係者に対して、様々な支援活動を行う。情 報収集と提供、相談、広場、講座、研修、サ ポート、調査、ネットワーク他。

#### 取り組んでいる活動の思い

今から25年前、子育て当事者である母 親たちが中心となり、自分たちが必要と 思う事業を次々に立ち上げ、柔軟に取り 組んできました。

現在も20代から60代までの約60名の スタッフが、お互いを助け合いながら、新 しい親子を支援する為に、毎日様々な活 動に活躍しています。

しかし、社会状況の変化の中で、子育て 環境はますます厳しくなり、個別支援の 必要性が高まっています。虐待予防の為 にも、一時預かりや保育付き講座の充実。 職場復帰の為の支援。専門機関との連携 等。これからも子育て支援は重要性を増 していくと考えます。

#### 活動歴

1993年10月発足。

翌年子育て情報誌を発行。中野島に事務 所を開設。その後南生田に移転。

2002年7月法人化。

事務所を稲田堤に移転。

自主事業として子育てサロン、グループ保 育、ママサポート、子育て講座、一時預か り。委託事業として子育て支援センター、 子育て支援者養成講座、親と子の育児園、 地域の寺子屋運営。

補助事業として産後ヘルパー派遣。

2015年12月

事務所を中野島(布田)に移転。

#### 団体情報

住所 〒214-0011川崎市多摩区布田

24-26

TEL 044-945-8662 FAX 044-944-3009 Mail nfo@mamaton.jpn.org

http://www.mamaton.jpn.org/

### 助成した事業・活動

一時預かり事業

### 内容

子育て中のお母さんのストレスを軽減するため、条件を問わず、お子さ んをお預かりする。

### 助成対象

一時預り事業を定期的に継続して行うことができるようにスペース確 保のための事務所の増床費

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の助成をいただき、事務所内2階の床を拡張する事により、 お子さんをお預かりする為のスペースが増えます。一時預かりや 保育付き講座の対応人数を増やすことが可能になり、保護者のス トレス解消による虐待予防や、就労準備の為の支援を充実させる ことが可能となり、母親の自立にも繋がると考えます。

また母子分離の機会を経験する事で、親以外の大人への信頼関係 を築くなど、子ども自身の成長を助ける事にもなります。地域の 保育園不足への一助にもなります。





# 「あいおい」みんなの食堂 代表 佐藤 純子 相模原市中央区相生

助成金額 69.600円

### 団体紹介

#### 設立年月

2016年5月

#### 団体の目的・活動内容

#### 開催の目的

地域にはさまざまな困難を抱えた子供たち がいます。一緒にご飯を食べて過ごすことを 通じて、信頼できる大人や若者につながった ときに、子どもが何らかの希望や夢を持つ きっかけになればと思います。また、子ども の問題だけではなく、核家族化や共働き家族 も増えて遊び・だんらん・コミュニケーショ ンの不足になど、大人にも必要な居場所にな ると思います。

誰でも参加できる居場所です。

#### 活動内容

場所: さがみ生活クラブ生協 相模原センター

日時:第二:四(金)16:30~18:30 大人300円 子ども100円

(★食事をする人のみ)

#### 取り組んでいる活動の思い

「あいおい」 みんなの食堂 (以下食堂と省 略) は立ち上げてから約1年半経過し、一 度もお休みすることなく月に2回開催を 続けています。

時にスタッフ不足の日や、様々なことが ありながらもみんなの思いに支えられて 続けられています。開催を続けることで 地域の問題が見えてきました。また地域 の人たちの居場所になってきました。継 続していく活動の必要性の大切さを感じ ています。

#### 団体情報

住所 相模原市中央区相生3-9-23 生活クラブ相模原センター2階大会議室

aioiminnanosyokudou2016@gmail.com FaceBook

「あいおい」みんなの食堂

### 助成した事業・活動

月2回の食堂開催

### 内容

30~40食の食事の提供

### 🔭 助成対象

広報費(看板・地域への回覧チラシ) 調理備品(フライパン・まな板・フードプロセッサー) ボランティア保険代

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

たくさんの方の思いがこもった助成金を大切に使わせていただき ます。継続した活動が続けられるようにしてゆきたいです。





月2回の食堂開催風景

みんなでわいわい

### NPO法人き・ら・らクリアポート 日中一時支援事業所

代表 原口 洋子 逗子市

助成金額 300,000円

### 団体紹介

#### 設立年月

2017年6月

#### 団体の目的・活動内容

自立通所の力がないことで、在宅生活を 強いられる知的障害者に就労・生活の自立 訓練の場を設立しました。

通所の練習を初めとする自立訓練、就労機 会の準備を提供する場を提供しています。

#### 取り組んでいる活動の思い

三浦半島圏域で初の地域生活支援事業、 日中一時支援事業所を立ち上げました。 自立の通所訓練を初め、就労機会の習得 のために、活動メニューを豊富にし、得意 なことや集中して取り組める作業スキル の掘り出しをしていきます。

畑作業、料理、手作業、学校卒業と同時に、読み書き計算なども終了してしまうケースが多いため、学習時間を取り入れています。

就労が困難な方にも対応し、家庭での生活、家事や入浴、体操など、生活のスキルにも着目し、支援を受け入れやすくするために、自立に向けた個々に、個別指導計画を作成し、活動を行っています。

#### 活動歴

2016年9月より事業立ち上げのプロジェクトを立ち上げ、2017年6月「クリアポート日中一時支援事業所」を開所

#### 団体情報

NPO法人き・ら・ら

住所 逗子市池子2-8-14 TEL 046-874-5531

Mail hikizakura.yokohama@gmail.com

#### クリアポート日中一時支援事業所

住所 〒249-0005 逗子市桜山6-19-24

TEL 046-897-6631

Mail clearport@jcom.zaq.ne.jp

### 🗱 助成した事業・活動

障害者自立支援法 地域生活支援 日中一時支援事業

### ♣ 内容

地域の中で通院以外の通所先の知的障害者を対象とした就労・生活訓練を行う

### ♣ 支助成対象

民家の空き家を借り受け、住宅改修費用を助成

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

特別支援学校卒業後、障害者の進路先は社会資源が少なく、自宅に引きこもってしまうことが多々あります。生活するためのスキルを構築し、社会参加のための訓練を行う必要は18歳以上になっても継続する必要があります。

多くの知的障害者が、地域社会に参加し、地域は共生社会の実現を図る そのような取り組みをボランティアはじめ、多くの市民の参加によって拡げていきたいです。





# 海老名女性支援電話「そよ風」

海老名市 代表 後藤 晶代

助成金額 268,784円

### 団体紹介

#### 設立年月

2007年6月

#### 団体の目的・活動内容

地域の人間関係の希薄さから悩みをひと りで抱え込んでいたり、DV·家族問題な どは話して二次被害にあったりします。 支え合える地域となり、社会的に力の弱 い女性たちの支援に役立ちたいと、安全 が保てる敷居の低い相談窓口として、匿 名・無料の女性のための電話相談を立ち 上げました。

#### 取り組んでいる活動の思い

2年前に事務所を持つことができ、活動 が充実してきています。昨年10月からは 「全国共通DVホットライン」にも参加 し、週2日(火10~15時・金13~16時) の電話相談活動をしています。電話相談 は傾聴を基本に相談者さんに対応します が、傾聴のスキル向上とともに専門性を 強く求められています。

DV相談を受けるに当たっては、専門性 を持っているスタッフによる研修を行い 対応しました。さらに、今年度はレジリエ ンスファシリテーター養成研修に一人を 派遣し、その内容を共有化することで被 害者支援のスキルアップを図り、より充 実させ男女共同参画社会をすすめる力に なりたいと思います。

(レジリエンスとは被害者の回復支援の プログラムです)

#### 活動歴

2007年6月

海老名市内で電話相談を開始。

#### 2015年4月

専用の事務所確保 相談日時を火曜10時~13時、 金曜13時~16時とする。

#### 2016年10月

全国共通DVホットラインに参加 相談日時を火曜10時~15時、 金曜13時~16時と延長。

#### 団体情報

住所 〒243-0419 海老名市大谷北 1-6-6-612 (後藤方)

TEL/FAX 046-233-0855(後藤方) Mail a\_goto612@yahoo.co.jp(後藤方) 

### 助成した事業・活動

電話相談事業の充実

### 内容

レジリエンスファシリテーター養成研修に一人を派遣し、その内容 を共有化することで被害者支援のスキルアップを図ります。

相談業務をより充実させるため、電話相談を一人体制から二人体制 を図ります。手弁当で活動してきましたが、交通費を支給すること で、増える活動を支えます。スキルアップの外部研修にも積極的に 参加できるように交通費を支給します。

事務所にパソコンを導入し、毎月のDVホットライン事務局への報 告の利便性を高めます。今までは報告担当者が、毎月20件以上の 手書きした相談内容を自宅で入力し送っていました。また、新たに HPを作り、自分たちで更新できるようにし、「そよ風」の情報を必 要としている人たちに届ける努力をします。

### 🔭 助成対象

レジリエンスファシリテーター養成研修 研修費 活動にかかる交通費 パソコン購入費

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

電話相談の拡充とともに、相談員の被害者支援スキルアップと活動 を支える環境の充実が求められています。

今回の助成はそれらを支えるもので、本当に喜んでいます。私たちも -層の力を注ぎ、社会に貢献できる団体になっていきたいと思います。



週2日、相談電話を受けています。

相談日時: 火曜日10時~15時、金曜日13時~16時

相談TEL:046-235-7353

# NPO 法人 まんま

理事長 金子 美津子 横浜市瀬谷区

助成金額 260,000円

### 団体紹介

#### 設立年月

2004年2月

#### 団体の目的・活動内容

乳幼児及び青少年とその親に対し、安心 して過ごせる居場所を提供することと、 親と子を支える新しい地域コミュニ ティーの構築・推進に関する事業を行い、 地域の子育て支援全般の向上と子どもの 関わる活動団体とネットワークづくりを 目的として活動しています。

#### 取り組んでいる活動の思い

私たちは、横浜市瀬谷区で、主に0~3歳 の子どもとその保護者を対象とした親子 のひろば 「まんま | を運営しています。 その中で、子どもの発達に不安を抱える 親子にとって、気軽に相談が出来る場や、 もっと安心して過ごせる場の必要性を感じ て「発達不安のある親子のためのピア相 談の場 ぽれぽれ」事業をはじめました。 ひろばでのピア相談と、別室での個別相 談、親向けの勉強会を通して、親子にとっ て気軽に相談がしやすく、様々な悩み・不 安に寄り添った対応ができること、同じ悩 みを持つ母親同士の交流の場や学びの場 となることを大事に活動していきたいと 思っています。

また、自団体だけでなく瀬谷区地域子育 て支援拠点や、瀬谷区知的障害理解啓発 グループ「antmama」などと連携をして、 地域全体で様々な子育てを見守るネット ワークづくりをしていきたいと思ってい ます。

#### 活動歴

2015年より個別相談の場として子ども の育ち相談日「ぽれぽれ」事業や集団が苦 手な子どものための音楽遊び「おとのつ みき」等の事業を実施してきました。

#### 団体情報

住所 〒246-0031 横浜市瀬谷区瀬谷 4-7-19

TEL 045-303-5393 FAX 045-442-3666

Mail manmanchi@r9.dion.ne.ip

http://www.h7.dion.ne.jp/~manma/

### 助成した事業・活動

発達に不安のある親子のためのピア相談の場「ぽれぽれ」

### 100 内容

子どもの育ちに不安を持つ親や、障がい児とその親が抱えてい る悩みを、相談員に話すことで解消できる場、またその親子を地 域で支えていくための体制づくりを目的としたピア相談及び勉 強会の実施。

### 助成対象

スタッフ研修費

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私たちは、この助成を通してスタッフの育成をさせていただくこと で、通常のひろばの活動の中で発達に不安のある親子を受け入れる ことができるようになりたいと思っています。

そして「親子のひろば まんま」が、地域の中で子どもの発達に 不安のある親子にとって安心して過ごすことのできる居場所のひと つになっていくことを目指しています。



ひろば内の様子

子どもを遊ばせながら 気軽に相談できる雰囲 気を大切にしています。

#### 個別相談の様子

個別で相談したいときは、別室でじっく り話すことが出来ます。予約も可。



相談ルームには、発達に関する書 籍や関連情報コーナーがあります。 希望者には同室保育も可能です。



# 子育てサロン「子こっと」

代表 稲川 礼子 茅ヶ崎市

助成金額 100,000円

### 団体紹介

#### 設立年月

2004年4月

#### 団体の目的・活動内容

「社会の宝」である子どもが、地域でスク スクのびやかに成長することを願い、ス タッフ一同ママさん達の悩み、不安を軽 くしてもらうために、ホットと出来るス ペースを月3回開所しています。

乳幼児には、絵本の読み聞かせ、手遊び、 誕生会、人形劇の鑑賞を続けています。

#### 取り組んでいる活動の思い

入園、入所前の0才から3,4才までの乳 幼児に小さいながらも、集団で過ごす時 間を大切にしもらいたいと考えています。

『一人ひとりあたたかく抱きしめる。手を 差し出せるのは親に限らない』その思い が長く続けられた要因、スタッフの頑張 りの元になっています。

#### 活動歴

2004年4月、地域内にある自治会館 を会場として、月1回のサロンを開設。 2006年からは月2回に、そして2009 年からは月3回、毎回木曜日の10:00~ 12:00までとしました。

萩園いこいの里3Fも会場とし使用させ ていただいています。

#### 団体情報

住所 茅ヶ崎市今宿 268-20

### 🗱 助成した事業・活動

子育てサロン 「子こっと | の運営維持

### 内容

子育て中のママさんと乳幼児の居場所の提供

### 助成対象

長期使用してきた玩具類、ジョイントマットの買い替え、絵本、CD の購入

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2018年春には活動をスタートさせて、15年目となりますので以降の 活動の継続に向け準備するもの、買え替えしなくてはいけない備品の 費用とさせていただきます。

そしてこれからの活動が、スムーズに楽しく、安全に続けていける 事を願っています。



自治会館での子ども達の様子





きんこんかん劇場による人形劇鑑賞会



# NPO法人 ワンエイド

理事長 松本 篝 座間市

助成金額 394,800円

### 団体紹介

#### 設立年月

2011年1月19日

#### 団体の目的・活動内容

社会的弱者の住まいや暮らしの相談から サポート、食糧支援のフードバンクを 行っています。たすけあいのネットワー クを作り、安心して暮らせる町づくりを 目指しています。

#### 取り組んでいる活動の思い

安心して暮らせる住まいと食べ物がある ことが先ずは一番です。けれどもそれが なかなか難しい環境の方たちがいます。 命を支える支援として活動して見えたこ と。子供から高齢者まで、今、助けなくて はならない方が大勢いる現実。

自立を目指すにも、子供たちが将来への夢を切り開くにも、住まいや食べることがあってこそ出来ること。だから当団体としてのフードバンク活動だけではなく、子供食堂や、認知症カフェ、無料学習支援、地域の様々な団体に食材を提供することで後方支援をし、つながる活動をしています。そして今後、更に厚い層にして行きたいと思っています。

#### 活動歴

#### 2011年

福祉有償運送事業所として座間に登録 2012~14年

座間市生涯学習課市民自主企画講座開催 2015年

地域見守り事業所として座間市と協定を 結ぶ

#### 2016年

- ・座間市社会福祉協議会福祉まつりにて フードドライブ開催
- ・座間市ふるさとまつりにてフードドライブ開催
- ・災害サポート店として座間市協定を結ぶ2017年

座間市民活動サポートセンターにてフー ドドライブ開催

#### 団体情報

住所 〒252-0001座間市相模が丘 4-42-20

TEL 046-258-0002 FAX 046-259-9514

Mail own\_aid@yahoo.co.jp

### 🛊 助成した事業・活動

現在のフードバンク活動を充実させて、困窮世帯の支援を拡大したい。

### \* 内容

フードバンクの食糧配達を通じて困窮者の生活実態をより深く知り、自立に向けての支援を拡大する。

### ■ 助成対象

配達業務事業の拡大、それに伴うリーダー育成

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

食料を必要としているのにもかかわらず、どうしても来所できない 世帯に配達ができるのはとても大きいです。

さらにリーダーを育成することにより、有償ボランティアのスムーズな調整が出来、今まで以上に深い支援をすることが出来るのではないかと思っています。



顕正寺様にて食料の寄贈をしていただきました。



子供食堂の様子

子供食堂に食材の提供をいたしました。 その食材を美味しい料理に変えて下さいました。



母子家庭に食材をさしあげたところ、お礼の手紙と写真をいただきました。



高齢者のお宅までお 届けに伺いました。



### 神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会 理事長 木村 満里子 神奈川県

助成金額 394.800円

### 団体紹介

#### 設立年月

1989年9月

#### 団体の目的・活動内容

ワーカーズ·コレクティブ (W.Co) の連合の 力をもって、その事業と運動の発展を推進し、 「市民資本セクター」の拡大、「参加型システ ム」の構築を目指す。

W.Coの事業·活動の課題解決、制度政策·提 言活動を行う。

#### 取り組んでいる活動の思い

2016年度、第6期福祉たすけあい基金の 助成を受けて、県内19カ所で行った「ダブ ルケアカフェ」や今年2月に行った「ダブル ケアシンポジウム」で、地域で孤立しがちな 人々の交流の場、支え合い・たすけあいの場 づくりの必要性を改めて確認しました。

W.Coは生活クラブ運動から生まれ、在宅福 祉の分野で生活者・市民の自主的な取り組 みとして、家事介護や食事、移動、子育て支 援等の参加型福祉の実践は、W.Coの活動 として30数年の間引き継がれ継続してい ます。

2016年に実施した調査では、神奈川ワー カーズ・コレクティブ連合会に所属している W.Coによる、地域の人を対象とした居場所 や交流のためのサロン、ひろばは42カ所で 開催されています。

しかし、現状において居場所・たまり場の独 自の開催場所を確保することが困難なため 常設ではなく、主要事業の休みの日などの 合間を縫って行われていて、いつでも気軽に 立ち寄れる常設の場が必要という声は、主 催する多くの団体から上がっています。

#### 活動歴

#### 2015年12月~2016年2月

横浜国大と神奈川W.Co連合会共同で のダブルケア実態調査。

#### 2016年10月~12月

神奈川県内19ヵ所でダブルケアカフェ開催 2016年度

「オルタナティブな地域包括ケアシステ ム研究会」に参加

介護保険検討チームでW.Coによる自主 事業の調査実施

#### 団体情報

住所 横浜市中区南仲通4-39石橋ビル4階

TEL 045-662-4303

Mail junion@wco-kanagawa.gr.jp

### 助成した事業・活動

市民参加による地域包括ケアの先行モデルづくりに向けた調査研究

### 内容

- ·在字福祉W.Coの自主事業(居場所・たまり場を含む)に関する実態 調査、集計·分析、課題整理
- ・居場所・たまり場づくりに関する公的な支援制度等の調査・検討
- ·居場所·たまり場づくりに向けたモデル検討
- 市民参加型のボランタリーアソシエーションづくりモデル検討
- ·報告書の作成とフォーラムの開催
- ・ 自治体への政策提言を視野に入れた検討

### 助成対象

- ・調査研究にかかる会場費・交通費・諸謝金等
- ・フォーラム開催費用
- ·報告書作成費用

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

日々事業や活動を行う中で、居場所・たまり場の必要性を感じては いても、開催場所の確保、費用の問題、人の確保など多くの課題があ ります。様々な事例を調査研究し、継続して行える方策をまとめ、居 場所・たまり場の拡充やたすけあいのしくみのづくりにつなげたい と思います。



W.Coのデイサービスを利用した ダブルケアカフェの様子



ダブルケアシンポジウム

デイサービスでのサロンの様子





### こぐまハートクラブ (NPO法人 Small Step 設立準備委員会)

代表 赤荻 聡子 横浜市内

助成金額 300,000円

### 団体紹介

#### 設立年月

2015年4月

#### 団体の目的・活動内容

先天性心疾患児を含む病弱児が社会生活 の中で直面している様々なステップ(困 難)を軽減又は解消するための支援事業 等を行い、病弱児及びその家族の心理的、 肉体的、経済的な負担を軽減して、病弱児 一人ひとりの自立を促すことを目的とし ます。

#### 取り組んでいる活動の思い

心臓病児と家族のための任意団体から、 心臓病児のような病弱児は、就園・就学の 際に受け入れ拒否や保護者付添を要求さ れ、自立を阻害される現状を見てきまし た。心臓病児が含まれる「内部障害児」や 「病弱児」は制度の狭間にあり、何の援助 も得られないこともあります。

①病弱児の居場所作りサポート事業

#### ②保育事業

③中間支援事業の3つの事業を通して、 病児の地域への移行支援を行いたいと考 えています。

①については、心臓病の子どもと家族の 集い「横浜こぐま園」「こぐまハートクラ ブ」の運営サポートの他に、9月よりリラ ママカフェをスタートさせます。②につい ては、2018年4月開園を目標に企業主 導型保育事業の申請に挑戦中です。③は対 面式アンケートを行い、支援の必要な子

#### 活動歴

2017/8/8 NPO法人Small Step開設

#### 団体情報

住所 神奈川県横浜市西区中央2丁目 55-1-207

TEL 090-5591-0587

Mail mailtosmallstep@gmail.com

### 助成した事業・活動

NPO法人Small Step 「中間支援事業」 立上げ

### 内容

広報費と人件費の一部

### 👛 助成対象

ホームページ及びロゴの作成と、対面式アンケート に必要な人件費の一部。

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

当初は、学校や幼稚園への付き添い支援員としての人件費として申請させ ていただきましたが、組織形成のための着実なステップをということで、広報 費と人件費の一部を助成して頂きました。ありがとうございます。

着実に必要な支援を展開できるよう、Small Stepのロゴとホームページを 作成させていただきます。また、これを元手として、数名の子どもの付き添い 支援ではなく、より多くの子どもの二一ズを吸い上げられるよう、対面式アン ケートを実施したいと思います。3つの事業を総合的に、着実な事業展開を 行っていきたいと思います。



「こぐまハートクラブ」 のハワイアンコンサー トで心臓病の子供たち がエビカニクスを踊っ ている所

9月オープン予定-リラママカフェのチラシ



保育園開設候補地



## ヤングコミュニティ

横浜市中区・西区 代表 奈良橋 修

助成金額 152.353円

### 団体紹介

#### 設立年月

2010年5月8日

#### 団体の目的・活動内容

15歳以上くらいの若い方を対象とした学校 や会社、家庭以外で集まれるコミュニティを テーマに活動しています。

#### 活動内容

- ①フリースペース
- ②講座
- ③イベント

#### 取り組んでいる活動の思い

この団体を立ち上げた経緯として代表者 自身がかつて心の病や人間関係のトラブ ル、働くこと等、生き辛さを抱えていたこ とがあり若者支援関連の施設に出入りし ていたことがありました。

そんな中で自分が将来やりたいことやこ うした支援機関が継続できない事などが あり「まずは集まって何かしよう」という 所から活動をスタートさせました。

この活動を継続することで少しでも参加 する方への拠所や楽しみ、仲間作りや成長 に貢献出来ればと思っています。

#### 活動歴

#### 2013年

神奈川県立青少年センター青少年サポート 課による補助金事業「自分も相手も傷つか ないコミュニケーションの取り方」を開催 2016年

神奈川県立青少年センター青少年サポート 課主催事業「コミュニケーション人間関係 講座」を受託

#### 団体情報

住所 〒231-0062 横浜市桜木町 1-1-56クリーンセンタービル5階

TEL 070-1343-3976 Mail jiyujyuku@chic.ocn.ne.jp

https://youngcommunity.jimdo.com/

### 助成した事業・活動

社会問題や生き方等をテーマにした講演会とシンポジウム

### | 内容

非正規雇用をテーマに講演会とシンポジウムを行います

### 🖢 助成対象

今回の事業は当団体では初となる講演会とシンポジウムの2本立ての講 座の開催となり講演会の講師やシンポジウムのパネラー当事者の話を聞 いたり対話をすることで今の仕事、働き方、将来設計に悩んでる方のお役 に立ち講座に参加して頂く上で参加される方の次のステップに繋がる きっかけになればと思います。

### 助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の事業は当団体では初となる講演会とシンポジウムの2本立ての講座の開 催となり講演会の講師やシンポジウムのパネラー当事者の話を聞いたり対話をす ることで今の仕事、働き方、将来設計に悩んでる方のお役に立ち講座に参加して 頂く上で参加される方の次のステップに繋がるきっかけになればと思います。





イベント (野島公園でバーベキュー)

フリースペース (藤沢新堀ライブ館)



講座(職業を考えるワークショップ)



毎年度の事業活動報告書は財団ホームページからご覧になれます。

神奈川県内で福祉たすけあいの市民活動支援へのご寄付をお願いします。 公益財団法人かながわ生き活き市民基金では、毎月100円の寄付(手続き上年間分一括振 込)をお願いしています。寄付金の内65%は福祉たすけあい基金の助成金として活用しま す。また、35%は公益財団法人の運営費(管理費・広報費・市民活動のネットワーク費用な ど)として使わせていただきます。現在、11,000人が継続寄付に賛同されています

かながわいきいき 検索

### 3 ご寄付の方法

#### (1) 郵便・銀行口座にお振り込みの場合

	①郵便振込	②銀行振込
銀行名	ゆうちょ銀行	中央労働金庫
預金種目	当座	普通
店名	〇二九店	新横浜支店
□座番号	0072370	3603639

### (2) クレジット寄付の場合

かながわ生き活き市民基金のホームページからクレジット寄付が可能です。 下記、QRコードか、かながわ生き活きで検索し、財団への寄付をクリックし、 お手続きください。



※ご寄付のお手続きが済みましたら、右ページの寄付申込み書を切り取り、 必要事項をご記入いただき、郵送、又はFAXにてご提出ください。

住所: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル6階

FAX:045-620-9045讫

### > 税制優遇が受けられます

公益財団法人かながわ生き活き市基金へのご寄付は、確定申告により以下の様に税制上 の優遇措置を受けることができます。

所得税控除・・・・・・・・・(公益法人への寄付総額-2,000円)× 40% 県民税・市町村民税控除・・・( 同上 ) × 10%

例: 横浜市在住の方が10.000 円をご寄付された場合(10.000 円-2.000 円)×50% =4.000 円 が控除されます。

詳しくは財団ホームページかお住まいの自治体・税務署でご確認ください。

# 福祉たすけあい基金寄付申込書

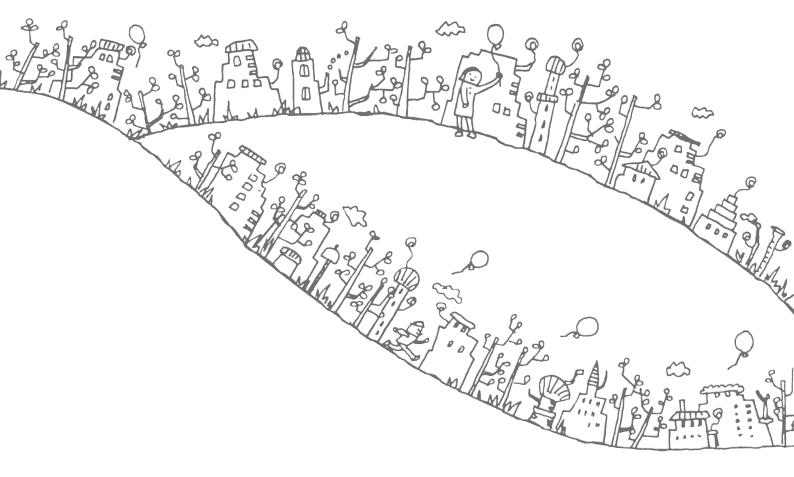
記入日: 年 月 日

※申込書に記載された個人情報は大切に管理し、ご案内発送、申込書の内容確認等以外には使用しません。

フリガナ		
お名前 ※団体の場合は、 団体名及び担当者名		
住所	〒	
電話番号		
メールアドレス		
寄附の支払い方法	□郵便振替 □銀行振込 □クレジット決済	
寄付金額	円	
受領書の発行	<ul> <li>・希望する ・希望しない</li> <li>※○をつけてください。</li> <li>※ 当財団は公益法人です。寄付金額により税制上の優遇措置が受けられ、その際に受領書が必要となります。</li> </ul>	

ゆうちょ銀行または中央労働金庫のどちらかへお振り込み頂きますよう よろしくお願いいたします。

銀行名	ゆうちょ銀行	銀行名	中央労働金庫
金融機関コード	9900	金融機関コード	2963
預金種目	当座	預金種目	普通
店名	〇二九 店 (ゼロニキユウ店)	店名	新横浜支店
□座番号	0072370	口座番号	3603639



### のかがか生き活き市民基金 Kanagawa Unity Citizens Fund

#### 発行:公益財団法人 かながわ生き活き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル6F

Tel: 045-620-9044 Fax: 045-620-9045

Mail:info@lively-citizens-fund.org

URL: http://www.lively-citizens-fund.org/

Facebook: https://www.facebook.com/livelycitizensfund

発行日/2017年12月